

1. 創造デザイン科とは

1. 創造デザイン科とは

文部科学省から研究開発学校の指定を受け、
金沢大学附属中学校が設置した新教科である。

1. 創造デザイン科とは | 研究開発学校制度

教育実践の中から提起される諸課題や、学校教育に対する多様な要請に対応した新しい教育課程（カリキュラム）や指導方法を開発するため、**学習指導要領等の国の基準によらない教育課程の編成・実施を認める制度**



本校が応募した「研究開発の募集課題」

主として特定分野に特異な才能を持つ児童生徒に対する指導に関する
研究開発

1. 創造デザイン科とは | 研究開発学校制度

研究開発の募集課題（文科省が指定した課題）

主として特定分野に特異な才能を持つ児童生徒に対する指導に関する研究開発



研究開発課題（本校が設定した課題）

個々の持つ強みを協働させて「新たな価値を創造する資質・能力」を育成する新設教科「創造デザイン科」の在り方に関する研究開発
－個別最適化学習とSTEAM教育を柱として－

2. 問題の所在

2. 問題の所在 | 新たな社会で求められる資質・能力

Society5.0



創造性を必要とする問題解決が重要視

2. 問題の所在 | 新たな社会で求められる資質・能力

型にとらわれないアイデアを見出し、
新たな仕事を生み出す



新たな価値を創造する資質・能力



2. 問題の所在 | 新たな社会で求められる資質・能力

1 デザイン思考

4 プレゼンテーション能力

2 イノベーターの
マインドセット

5 科学的思考

3アントレプレナーシップ

2. 問題の所在 | 個別最適な学び

自らの特性や強みを自覚し、その力を最大限に伸長、発揮して、自己の可能性を自覚させることが大切

特異な才能を有する生徒

個別最適な学び



2. 問題の所在 | 教育課程の問題点

- 新たな価値を創造する資質・能力
- 個別最適な学び



「新たな学びの場」を提供

2. 問題の所在 | 附属中学校が設定した「新たな学びの場」

「新たな学びの場」 = **新教科「創造デザイン科」**



- 「新たな価値を創造する資質・能力の育成」
- 「個別最適な学習」

の一体的な充実を目指す

2. 問題の所在 | 附属中学校が設定した「新たな学びの場」

研究開発課題（本校が設定した課題）

個々の持つ強みを協働させて「新たな価値を創造する資質・能力」を育成する新設教科「創造デザイン科」の在り方に関する研究開発
－個別最適化学習とSTEAM教育を柱として－

3. 附属中の取組

3. 附属中の取組 | 研究仮説

「特異な才能を有する生徒も、多様な生徒の一人」と考える。

各教科等の授業, 学校行事

記録, 共有

特異な才能を含めた生徒の特性の記録, 共有
(校務支援ソフト)

学習面

- ・ 学習進度
- ・ 学習到達度
- ・ **特異な才能**

生活面

- ・ 健康状態
- ・ 悩み
- ・ 生徒指導 など



教師

特異な才能を有する生徒へのアプローチ①

創造デザイン科の授業

協働的プロジェクト型学習 (STEAM教育)

II

- ・ 新たな価値を創造する資質・能力の育成
- ・ インクルーシブ型の拡充的な学習



生徒

生徒との関わり

特異な才能を有する生徒へのアプローチ②



大学, NPO, 企業
(コンテストや専門的な学習支援活動)



3. 附属中の取組 | 創造デザイン科の取組

デザイン思考をベースとしたカリキュラム

1



共感

2



問題定義

3



創造

4



プロトタイプ

5



テスト

人に共感し，潜在的な
ニーズを見出す

価値ある新しい取組を生む

問題の解決に迫るために，
豊富にアイデアを出す

型にはまらない解決策を生む

3. 附属中の取組 | 創造デザイン科の取組

1



共感

2



問題定義

3



創造

4



プロトタイプ

5



テスト

人に共感し，潜在的な
ニーズを見出す

問題の解決に迫るために，
豊富にアイデアを出す

問題が自分のものとなることにより，主体的な活動が実現される。教師が，問題や課題の設定を行わない

3. 附属中の取組 | 創造デザイン科の取組

1



共感

2



問題定義

3



創造

4



プロトタイプ

5



テスト

机上の空論で終わるのではなく、アウトプットを行う

3. 附属中の取組 | 創造デザイン科の学習内容

発達段階を考慮した活動テーマの設定（R5年度のもの）

第1学年	「より良い学校を創造しよう」
第2学年	「学校と地域の関係を創造しよう」
第3学年	「地域にある問題を見出し，創造的な解決を目指そう」

3. 附属中の取組 | 創造デザイン科の取組

- 創造性の育成に重点を置く
- 潜在的なニーズに迫り，価値ある新しい活動を生み出す
- 問題を自分のものにすることに時間を費やす
- 机上の空論で終わらず，アウトプットまで行う



総合的な学習の時間を，「創造性の育成」に特化し，教科化したものが「創造デザイン科」である